

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月30日

事業所名: オリーブハウス

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88%	13%	・スペースが確保しにくい時は学習室も使用している。 ・2階の学習室を使うことで児童の人数が分散している。 ・1階の指導訓練室スペースとは別に2階に学習室があるため適切に調整出来る。 ・運動時には柵を移動し室内を広げ学習時には仕切等の工夫をしスペースを有効的に使えている。 ・低学年児童が増え、学習と遊ぶスペース、職員の数で手狭に思う。 ・1階で療育をし2階で学習をする等目的に合わせて使い分ける事が出来ている。	・行事や、設定療育の内容に合わせて、部屋全体の活用方法の工夫を今後も行っていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	・イベントに応じて必要員数を配置している。 ・配置人数は適切であるが、利用児童のメンバーにより少なく感じる時もある。 ・適切またはそれ以上の配置人数がある。 ・児童に危険がないように配置されている。 ・児童に対して、職員が多いと思う時もあるが、概ね適切だと思う。	・状況に応じて人数配置を考えているので、今後も継続して行く。
	3 合理的配慮の視点に基づく環境整備がなされているか	100%	0%	・クールダウンスペースや視覚支援など、個人に応じて環境設定を行っている。 ・見通しが持てるようにホワイトボード・カレンダーに予定を記入している。 ・様々な子どもに対応できるよう椅子やロッカー、療育グッズなどを手作りしている。 ・指示の理解が難しい場面では文字や絵カード等で伝える工夫をしている。 ・空調や、カーペット、玩具、柵など工夫して配置している。 ・自立課題などの教材を児童が自発的に取組めるように配置を工夫した。 ・学習室は視覚刺激が入らないように、壁には何も貼らずにシンプルにしている。 ・ロッカーの柵は身体機能に配慮し柵板の高さを変更できるようになっている。	・今後も成長に合わせた、環境見直しを行っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・全スタッフが目標を共有し振り返りまで行っている。 ・会議録で内容の共有や確認がとれている。 ・各行事ごとに評価・反省を行なっている。 ・目標設定や振り返りを会議で行い、それらを共有している。 ・前日の出来事を翌日には必ず話し合い業務改善に努めている。 ・反省評価などで振り返り、記録も残している。 ・毎朝の申し送りの際に前日の振り返りを行い児童の様子などを職員全員で周知している。	・どの職員も業務改善についての意見が言えるような環境作りをしていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・年に一度アンケートを実施し参考にしている。 ・保護者アンケートを実施し、保護者の意見を聞き業務の改善をしている。 ・上司の指示の元行なっている。 ・保護者アンケートを活用し今後の改善の参考にして取組んでいる。 ・保護者様の評価表は全て管理者が目を通し、業務改善につなげている。	・来年以降も継続して行っていく。 ・現在も非常勤職員が意見を出せるように、会議等にも出席してもらっているが、今後も継続していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ホームページのお知らせに掲載されている。	・来年以降も継続して行っていく。
	7 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・定期的に研修を行い参加出来なかった職員も情報が共有できるように、研修の資料をファイリングし、どの職員も閲覧できるようにしている。 ・非常勤でも参加できる体制が取られている。 ・コロナ禍の為対面での研修は減ったがZOOMでの研修が増え参加する事が出来ている。 ・月1回程度、研修の機会がある。	・専門性を高める為、個別研修への参加を積極的に行なっていく。
適切な支援の提供	8 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	・計画作成時期に必ず保護者との面談を行っている。 ・ケース会議を行いニーズを整理し、分析をかけた計画を立てている。 ・保護者の要望と児童のニーズを基に作成し半年ごとに計画を作成している。	・今後は支援計画についての研修や、面談技術の研修を受けて、専門性を高めていくようにしていく。
	9 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	・保護者や学校への聞き取りなども行いアセスメントを取っている。 ・ニーズの整理表を活用している	・標準化されたアセスメントツールを使用していない為、今後使用できるようにしていく。 ・ニーズの整理表をもっと上手活用できるよう、研修等で学びを深めていく。
	10 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	・会議や申し送り時間を利用してチームで話している。 ・責任者を中心にチームで意見を出し合っている。 ・常勤、非常勤全員で会議時に話し合いを行っている。 ・会議で話し合い、活動プログラムを立案している。	・新人職員、非常勤職員の意見も聞き入れ行っており、今後も意見の出しやすい環境作りを継続して行っていく。
	11 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	・平日や毎月行う行事はほとんど固定されているが、休日は季節等に合わせた活動をしている。 ・固定化にならないよう全員の意見を取り入れ様々な活動を工夫して行っている。 ・内容の変化やルールの変化など、工夫している。 ・曜日ごとに設定内容を変えている。	・個々の課題に合わせたプログラムを職員全体で考えていくようにする。
12 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	・平日は学習と固定のカリキュラムになるが、休日は季節に応じたイベントを組み様々な経験が積めるようにしている。 ・平日は各曜日設定療育を設けており、長期休暇などの際は外出が出来ないようにしているが、コロナ禍の為、外出の機会は減っている。 ・子どもの利用時間に応じて療育を設定している。 ・コロナ禍のため休日や長期休暇に外出が出来なかったが室内や事業所前で行える療育を工夫して行っている。	・平日や長期休暇などのプログラムが固定化されないように見直しを行い工夫をしていく。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月30日

事業所名 オリーブハウス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動プログラムが考えられているか	88%	13%	・必要な子どもには個別と集団どちらも支援計画を組み込んでいる。 ・集団療育や個別療育などを組み合わせ考えている。 ・自立課題は個別、療育は個別や集団で組んでおり、子どもの状況に応じて療育ができるように努力をしている。 ・基本的には事前にプログラムは決まっているが当日の児童の精神状況等に合わせ変更するなど対応している。 ・子どもの状況に合わせて行っている。 ・子どもの成長に合わせた活動プログラムが考えられている。	・1日のプログラムをスムーズに行う為、朝のミーティングで話し合って適宜組み合わせ考えていく。
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	・朝の申し送りや前日の学習の様子、活動の様子を確認している。 ・毎朝申し送りの際に内容や役割分担を確認している。 ・毎朝、支援開始前に必ず申し送りや前日の児童の様子、事故、ヒヤリハット、相談等の情報共有を行っている。 ・当日の活動内容等の確認を毎朝行い、周知している。	・午後からの出勤職員への伝え漏れがないように、申し送りノート等を活用しきちんと伝達するようにしていく。
	15 支援終了後、職員間で必ず打合せをし、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88%	13%	・支援終了後の時間確保は難しい為、翌朝に行っている。 ・当日に事故や気付き等があればその日に話し合いそれ以外は翌日の申し送りで話し合いを共有している。 ・一日の気づき、振り返りを職員間で行っている。 ・その日の児童の様子についてや気になった事については、支援終了後または、朝の申し送りで情報を共有している。	・様々な活動や支援内容の取り組みを、非常勤職員にも共有できるように、日頃の申し送りの方法を検討していく。
	16 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	・毎日の様子をケースに記入し職員全員が閲覧できるようにしている。 ・業務日誌、ケース記録等で行なっている。 ・支援計画に基づいて毎日ケース記録を付けている。	・朝のミーティングを有効に活用し、検証、改善が行えるようにしていく。
	17 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	・計画見直し時期にモニタリング会議を行い、日々の支援の中で必要であれば話し合いを行っている。 ・会議を設けて定期的にモニタリングを行なっている。 ・年2回モニタリングを行い、見直しの必要性を判断している。	・年間の会議の回数を増やせるようにしていく。
	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	63%	38%	・基本活動を組み合わせ支援を行っている。 ・学校との連携を図る事の難しさを感じる。 ・コロナ禍の為、地域交流が出来ていない事が多い。 ・所属する放課後等デイサービスの連絡会を通し、放課後等デイサービスがどのような活動を行っているか、地域の方々に知ってもらう機会を設けた。	・コロナ禍の為、保護者、きょうだい参加の行事が行えていなかったが今後増やしていけるようにしていく。
関係機関や保護者との連携	19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が参画している。	・今後は児童管候補にも参画していてもらえるようにしていく。
	20 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	88%	13%	・基本的には保護者を通して学校との連絡を行っている。 ・学校によって連絡手段は異なるが、学校と直接やりとりしているところと保護者から連絡をいただくところがある。 ・学校の情報については保護者から伝達してもらっている。 ・学校や保護者様からいただいた月間や年間予定表を活用して、下校時刻の確認をしている。 また、トラブル発生時にはすぐに保護者様に連絡を取っている。	・今後も保護者、学校と連絡を取り、連携を図っていく。
	21 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	・新就学児の利用が決まった際には通っている園への訪問、見学、情報共有を行っている。 ・必要に応じて、管理者、児童管が行っている。 ・行なっているが十分ではない。	・連携不足な点がある為、今後積極的に情報共有が出来るようにしていきたい。
	22 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	14%	86%	・現在の障害福祉サービス事業所を利用している卒業生はいない。 ・そのような児童が当事業所にはいなかった。 ・対象の卒業生がいらない為、情報提供はしていない。	・担当者会議で利用者の課題等を話し合い情報を保護者に提供している。 ・今後、情報提供できる機会を増やしていく。
	23 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	67%	33%	・管理者・職員が研修を受けている。 ・研修などあれば受けている。連携などは管理者が行っている。 ・相談支援事業所と連携を取っている。	・今後も相談支援事業所との連携を取っていく。
関係機関や保護者との連携	24 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13%	88%	・コロナ禍の為、地域交流は出来ていないが、機会があれば良いと思う。 ・コロナウイルス感染症が流行していたため行っていない。 ・コロナ禍の影響もあり機会がなかった。	・今後、コロナ禍でも交流できる方法を考えていく。
	25 事業所連絡会、(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	・管理者が毎月参加をしている。	・今後も引き続き参加をし、横の連携が図れるように努める。
	26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	・利用時には連絡帳や送迎時に状況報告を行っている。 ・連絡帳や送迎時に口頭で様子をお伝えしている。 ・送迎時に話をすることが多いが、特に気になる事があれば、電話で話をすることもある。 ・事業所相談や電話での相談にも対応している。	・保護者会を開催し、保護者が気軽に相談できる機会を作っていく。 ・今後も送迎時や連絡帳を通して児童の情報の共有をしていく。
	27 保護者に対して学習会・研修会等の支援や案内を行っているか	50%	50%	・コロナ禍の為、そのような機会は殆どなかった。 ・コロナウイルス感染症が流行していたため行っていない。 ・保護者参加の学習会があった為、連絡会を通じて案内をしている。	・所属する連絡会を通し、保護者学習会の機会を増やしていく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月30日

事業所名: オリーブハウス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	28 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	・見学時や契約時に保護者に説明を行っている。 ・管理者が契約時に行っている。 ・問い合わせがあった場合は丁寧な説明をしている。	・どの職員も説明ができるように内部研修を行うていく。
	29 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	・職員によっては専門知識が不足しており出来ないと思う時がある。 ・連絡帳や電話で対応し必要であれば来所や訪問もしている。 ・管理者が行う事が多いが送迎時に職員が保護者と話をすることもある。 ・職員が対応する場合や、職員では難しい場合は管理者が対応している。	・適切に助言が出来ていない事もある為、管理者からアドバイスをもらいスキルを身につけられるようにしていく。
	30 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50%	50%	・コロナ禍のため回数が少ないが保護者会を開催している。 ・コロナ禍の為、今までのようには定期的には出来ないが、今年度は1度保護者会を開催した。	・コロナ禍の状況を見ながら保護者会を開催できる機会を増やしていく。
	31 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	・すぐに対応し記録に残している。 ・苦情があったらすぐに管理者に報告し迅速に対応している。 ・管理者の指導の下、迅速に対応している。 ・苦情は全職員が周知し、職員が対応できない場合は、管理者が対応する時もある。	・苦情マニュアルを職員に周知していく。
	32 定期的にホームページ等で、活動概要や行事予定等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	・ホームページやSNSを通して情報の発信を行っている。 ・ホームページやInstagram等で発信している。 ・毎月の利用表で行事予定を発信している。 また、活動報告は随時ホームページで発信している。	・今後もホームページ等を定期的に更新していく。
	33 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	・細心の注意を払い気をつけている。 ・管理者指導の下、慎重に行なっている。 ・個人情報を書かれた書類は鍵のかかる場所に保管し、十分注意している。 ・児童の名前が書かれた物はすぐにシュレッダーにかけて処分するようにしている。	・今後も管理を徹底していく。
	34 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14%	0%	・必要であれば口頭だけではなく視覚からの情報伝達も行う。 ・写真や絵カードを用いて分かりやすくしている。 ・視覚的にも分かりやすいように配慮している。 ・電話が必要な場合は電話で対応している。	・丁寧に分かりやすく伝えていけるようにしていく。
35 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13%	88%	・事業所単体ではコロナ禍の為、地域との交流は行っていない。 ・法人で地域交流イベントとして、ハロウィーンや子育てサロンを開催した。	・コロナ禍の状況を動機しながら、交流できる方法を今後も考えていきます	
非常時等の対応	36 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	88%	13%	・必要なマニュアルをファイリングし、すぐに見れるように設置している。 ・常時、マニュアルを確認できるようになっている。 ・コロナウイルス感染症が未知なウイルスであるため周知が難しかった。 ・保護者に配付用と事業所にマニュアルを作成し、事業所用は職員がいつでも見れるようにしている。	・コロナ禍の影響で対応が都度変更になり、マニュアルが曖昧になっていた為、今後そのような事が無いように職員全員に周知をかけるいく。
	37 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	88%	13%	・避難時のルート確認など訓練を行い記録に残している。 ・避難訓練を行い、避難ルートの検証をしている。 ・地震や災害の際の避難経路を確認し、実際に避難場所まで歩く訓練している。	・訓練の回数が少ない為、定期的に訓練を行うていく。
	38 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	・年に一回、必ず人権擁護の研修に参加している。 ・虐待防止委員会ができる予定である。 ・ミーティングや研修にて対応している。 ・研修に参加し虐待防止に努めている。 ・利用時の児童の様子のおよび変化を逃さないように気を付けて支援にあたっている。	・今後も虐待の研修に参加をしていく。
	39 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	・必要な場合はサービス計画に記載し保護者の同意をいただいている。 ・契約時に説明をしている。	・必要な児童には同意書をいただくようにしていく。
	40 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	88%	13%	・新規利用時には必ずアレルギーの有無を確認し周知し個別対応を行なっている。 ・保護者、管理者の指示に従い、対応している。 ・現在重篤なアレルギー児がいない為医師の指示書は預かっていない。 ・アレルギーのある児童に対しては、おやつや外食時にはその食べ物を与えないように細心の注意を払っている。	・どの職員もアレルギーの有無が周知できるように一覧を作成する。
41 ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有しているか	100%	0%	・何かあった際は当日に記録に残し必ず共有している。 ・月末に1カ月の出来事を改めて振り返っている。 ・記録として残し、全職員がいつでも閲覧できるようにしている。 ・その都度書類に事案と再発防止案を書き込み、翌朝の申し送り共有している。 ・当日の出来事はその日に話し合い翌日には再度全職員に共有している。 ・会議録、申し送り、ミーティング等で話し合い、情報を共有し、再発防止に努めている。	・今後も職員間での周知を徹底し、事故防止に努めていく。	